

第26回 関川流域委員会

関係住民意見聴取（パブリックコメント） の概要と頂いたご意見について

令和6年7月3日
北陸地方整備局 高田河川国道事務所

河川整備計画の変更

令和5年7月26日

河川整備計画 変更骨子案(目標流量・変更の考え方)公表

第24回 関川流域委員会



令和5年12月8日

河川整備計画 変更原案(本文・附图) 公表

第25回 関川流域委員会



令和5年12月13日
～令和6年1月31日

関係住民意見聴取(パブリックコメント)



令和6年7月3日

意見聴取を踏まえた対応について審議

第26回 関川流域委員会



河川整備計画 変更案(本文・附图) 公表

第27回 関川流域委員会



関係省庁協議

関係知事意見聴取



令和6年度内予定

関川水系河川整備計画 変更

■意見募集期間

令和5年12月13日（水）～令和6年1月31日（水）

■意見聴取方法一覧

意見聴取方法	概 要
①意見箱	縦覧場所に備え付けてあるご意見記入用紙に記入し、意見箱に投函
②インターネット	関川水系河川整備計画HP（以下URL）のご意見入力フォームに入力し、送信 ＜関川水系河川整備計画変更（原案）ご意見募集ホームページURL＞ https://www.hrr.mlit.go.jp/takada/river/9192/
③郵送・メール・FAX	縦覧場所に備え付けてある意見記入用紙、清流通信「川ッちゅ」第27号に添付のご意見記入用紙、以下宛先に郵送、メールまたはFAX ＜宛先＞ 〒943-0847 新潟県上越市南新町3番56号 高田河川国道事務所 調査第一課 宛 ＜メール＞ takada-river@hrr.mlit.go.jp ＜FAX＞ 025-522-3866 （高田河川国道事務所 調査第一課 宛）
④住民説明会	保倉川放水路ルート上の3地区等を対象に、説明会を開催（12月13日～20日）
⑤流域説明会	関川、保倉川流域の6地区で、説明会を開催（1月15日～23日）

関係住民意見聴取（パブコメ） 意見募集の周知

■意見募集の周知

意見募集にあたってはさまざまな形で住民の皆様方にお知らせしました。

縦覧および投函



縦覧及び意見募集用紙
投函箱設置状況（流域内全13箇所）

記者発表

高田河川国道事務所
国土交通省 高田かわこく 河川国道事務所

**関川水系河川整備計画変更（原案）について
流域の住民の方々からご意見の募集を開始しました。**

- 高田河川国道事務所では、12月8日（金）に開催した第25回関川流域委員会、今後30年間の関川水系における具体的な河川整備について定める「関川水系河川整備計画変更（原案）【大田管理区間】」（以下、変更原案）を公表しました。
- つきましては、12月13日（水）より、変更原案についての流域住民の方々からの意見募集を下記のとおり開始しました。
- また、1月中旬より順次、流域内の6会場で流域説明会も開催します。
- 多くの方々からのご意見をお待ちしております。

関川水系河川整備計画の変更原案について
・変更原案の本文については、高田河川国道事務所のホームページに掲載しております。
<https://www.hrr.mlit.go.jp/takada/river/0102/>
・別紙「清流通信 川つちゅ」の巻頭に変更のポイントを記載しております。

意見募集について
◆実施期間
自：令和5年12月13日（水）
至：令和6年1月31日（水）
◆提出方法
①意見箱に投函される場合
流域内の13箇所で、ご意見を投函いただけます。
※詳細は別紙「清流通信 川つちゅ」をご覧ください。
※投函場所では、変更原案を閲覧いただけます。

②ホームページからの場合
高田河川国道事務所ホームページ（ご意見入力フォーム）
<https://www.hrr.mlit.go.jp/takada/river/0102/>
右のQRコードからもアクセス可能です。

③郵送・メール・FAXの場合
郵送 〒948-0847
上越市南前町3番56号
国土交通省 北陸地方整備局 高田河川国道事務所 調査課一課 宛
TEL 025-522-3966
メール takada-nue@hrr.mlit.go.jp
FAX 025-522-3966

流域説明会の会場および日程
令和6年1月15日（月）から23日（日）に、流域内の6会場で流域説明会を開催します。
※詳細は別紙「清流通信 川つちゅ」をご覧ください。

お問い合わせ先
■調査課一課長 大田 一歩 TEL: 025-523-3136（代表）
FAX: 025-526-0411
国土交通省 北陸地方整備局 高田河川国道事務所
〒948-0847 上越市南前町3番56号
<https://www.hrr.mlit.go.jp/takada/>
高田かわこく ホームページ X (Twitter)

意見募集と
流域説明会の開催および日時について

関川流域の自治体の広報誌によるお知らせ



詳しくは高田河川国道事務所ホームページをご覧ください。
また、市内の各会場で変更原案の説明会を開催します。
国土交通省高田河川国道事務所調査第一課（2025・5・21・4・5）

「広報じょうえつ」
2024年1月号
お知らせに掲載

「市報みょうこう」
2024年1月号
お知らせに掲載

関川水系河川整備計画の変更原案に関する意見
関川水系河川整備計画は「関川水系河川整備方針」をもとに、今後30年程度の関川水系における具体的な河川整備について定めるものです。平成21年に策定した河川整備計画について、気候変動等を考慮した変更を行うため、意見を募集しています。
◎意見募集期間：1月31日（水）まで
▶計画：高田河川国道事務所ホームページをご覧ください。
◎高田河川国道事務所 025-521-4541

情報誌【川つちゅ】およびご意見記入用紙



清流通信「川つちゅ」第27号

ご意見記入用紙

関川水系河川整備計画（原案）についてご意見を記入してください。

氏名（姓）： _____
住所： _____
電話番号： _____
Eメール： _____
ご意見： _____
記入日： _____

ご意見記入用紙

事務所ホームページ



事務所HPの
ご意見入力フォーム

新聞記事

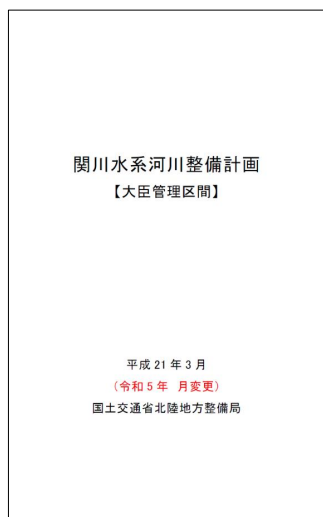
記者発表の結果、
・令和5年12月20日 新潟日報
・令和5年12月28日 上越タイムス
において、ご意見の提出方法や流域説明会の開催時期などを掲載いただいた。

■閲覧資料

関川水系河川整備計画
【大臣管理区間】変更（原案）

■実施時期

令和5年12月13日（水）
～令和6年1月31日（水）



関川水系河川整備計画
【大臣管理区間】変更（原案）

ご意見記入用紙

こちらの QR コードをスマートフォン等で読み取ることで、高田かわこくホームページの「関川水系の河川整備についてご意見をお聞かせください」ページからも、ご意見を回答することができます。
(ホームページは 12 月 13 日から開設します。)

関川水系河川整備計画変更（原案）【大臣管理区間】について
皆様のご意見をお聞かせください。
(令和 5 年 12 月 13 日(水)～令和 6 年 1 月 31 日(水)まで)

ご意見（必須）	
その他	
お名前	
年齢（必須） 年代をご記入ください	代
お住まいの地区（必須） 「〇〇市」、「〇〇区」、「〇〇町」、 「その他」	

【意見提出・お問い合わせ先】
国土交通省北陸地方整備局 高田河川国道事務所 調査第一課
〒943-0847 上越市南新町 3 番 56 号
メール: takada-river@hrr.mlit.go.jp
電話: 025-521-4541
FAX: 025-522-3866
(意見箱への投函や HP での回答の他、郵送やメール、FAX による意見の提出も可能です。)
※裏面に「流域説明会の会場および日程」「縦覧及び意見投函箱設置場所」「注意事項」のご案内がございます。

ご意見記入用紙（表面）

■流域説明会の会場および日程（下記の6会場で開催します）

保倉川上流	浦川原コミュニティプラザ	令和 6 年 1 月 15 日(月) 18:30～20:30 予定
保倉川中流	ユートピアくびき希望館	令和 6 年 1 月 17 日(水) 18:30～20:30 予定
関川左岸下流	市民プラザ	令和 6 年 1 月 18 日(木) 18:30～20:30 予定
関川右岸下流	カルチャーセンター	令和 6 年 1 月 19 日(金) 18:30～20:30 予定
関川左岸中流	オーレンプラザ	令和 6 年 1 月 21 日(日) 14:00～16:00 予定
関川上流	妙高市勤労者研修センター	令和 6 年 1 月 23 日(火) 18:30～20:30 予定

■縦覧及び意見投函箱設置場所

(令和 5 年 12 月 13 日(水)～令和 6 年 1 月 31 日(水))

場所	住所
高田河川国道事務所 1F 広報室	上越市南新町 3 番 56 号
高田河川国道事務所 高田出張所 1F 広報コーナー	上越市藤巻 6 番 18 号
上越市役所(河川海岸砂防課)	上越市木田 1 丁目 1 番 3 号
妙高市役所(建設課)	妙高市栄町 5 番 1 号
上越地域振興局地域整備部 計画課	上越市本城町 5 番 6 号
上越地域振興局 上越東維持管理事務所	上越市安塚区安塚 720 番 1 号
レインボーセンター(北出張所)	上越市中央 1 丁目 16 番 1 号
雁木通りプラザ(南出張所)	上越市本町 3 丁目 2 番 26 号
市民プラザ	上越市土橋 2554 番
カルチャーセンター	上越市春日新田 2 丁目 19 番 1 号
頸城区総合事務所 市政情報コーナー	上越市頸城区百間町 636 番
ユートピアくびき希望館	上越市頸城区百間町 716 番
南川分館	上越市頸城区松本 243 番 6 号

※上記場所での縦覧及びご投函は、各施設等の開館日・開館時間内にお願いします。

■注意事項

- いただいたご意見とともに、属性（都道府県、市区町村、年齢）を公表する場合があります。
- 意見の応募は令和 6 年 1 月 31 日(水)必着とし、期限までに到着しなかったものは無効とします。
- その他、応募に必要な事項の全てが含まれていないもの及び下記のいずれかに該当する内容については無効とする場合があります。
 - 個人や特定の企業・団体を誹謗中傷するような内容
 - 個人や特定の企業・団体の財産及びプライバシーを侵害する内容
 - 個人や特定の企業・団体の著作権を侵害する内容
 - 法律に違反する意見、公序良俗に反する行為及び犯罪的な行為に結びつく内容
 - 営利活動等を目的とした内容

ご意見記入用紙（裏面）



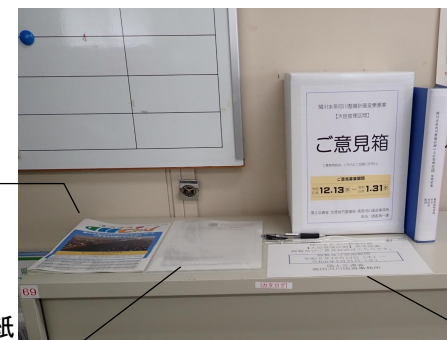
縦覧場所の状況



河川整備計画変更
の概要

清流通信
「川ッちゅ」第27号

ご意見募集用紙
【記入用】



設置状況

河川整備計画変更
【大臣管理区間】変更（原案）
【閲覧用】

■ご意見箱設置および資料縦覧場所

一覧に示す河川事務所、出張所、各自治体庁舎等にて意見箱および縦覧場所を設置しました。

ご意見箱設置および資料縦覧場所
高田河川国道事務所 1F広報室
高田河川国道事務所 高田出張所 1F広報コーナー
上越市役所 河川海岸砂防課
妙高市役所 建設課
上越地域振興局地域整備部 計画調整課
上越地域振興局 上越東維持管理事務所
レインボーセンター(北出張所)
雁木通りプラザ(南出張所)
市民プラザ
カルチャーセンター
頸城区総合事務所 市政情報コーナー
ユートピアくびき希望館
南川分館

計13箇所

■インターネット

ホームページにて「関川水系河川整備計画【大臣管理区間】変更（原案）＜概要説明資料＞＜本文＞＜対比表＞＜附図＞」を公表し、また同ページのご意見入力フォームよりご意見をいただきました。

「関川水系河川整備計画【大臣管理区間】変更（原案）」をホームページにて公表




ご意見募集
バナー

高田河川国道事務所ホームページ



「ご意見をお聴かせください」
ページへ

“関川水系の河川整備計画変更（原案）について
ご意見をお聴かせください”ページ



ご意見募集
入力フォームへ

ご意見入力フォーム

■郵送・メール・FAX

郵送・メール・FAXよりご意見を頂きました。



頂いたご意見

■住民説明会会場および日程

下記の4会場で開催いたしました。

地 区	会 場	日 時	参加人数
夷浜地区	上越市八千浦交流館はまぐみ	令和5年12月16日(土) 18:30～20:00	66名
浮島地区	四ツ浮会館	令和5年12月19日(火) 18:30～20:00	8名
下三分一地区	下三分一町内会館	令和5年12月13日(水) 18:30～20:00	10名
頸城土地改良区	頸城土地改良区	令和5年12月20日(水) 9:00～11:00	10名
			計94名

関係住民意見聴取（パブコメ）⑤流域説明会

■流域説明会会場および日程

下記の6会場で開催いたしました。

流 域	会 場	日 時	参加人数
保倉川上流	浦川原コミュニティプラザ	令和6年1月15日(月) 18:30	0名
保倉川中流	ユートピアくびき希望館	令和6年1月17日(水) 18:30～20:00	13名
関川左岸下流	市民プラザ	令和6年1月18日(木) 18:30～20:00	1名
関川右岸下流	カルチャーセンター	令和6年1月19日(金) 18:30～19:45	3名
関川左岸中流	オーレンプラザ	令和6年1月21日(日) 14:00～14:50	3名
関川上流	妙高市勤労者研修センター	令和6年1月23日(火) 18:30～19:50	1名
			計21名

■流域説明会配付資料

令和 6 年 1 月

関川水系河川整備計画変更（原案）流域説明会

次 第

主催：国土交通省 北陸地方整備局 高田河川国道事務所

- 令和6年能登半島地震 関川・保倉川 地震災害（報告）
- 関川水系河川整備計画変更（原案）の概要
- 今後の進め方
- ご意見、ご質問等

※説明後は2時間を予定しています。

説明会でのお願い

- ご意見がある方は、お声かけが希望です。後、係の者がマイクをお持ちしますので、お一人ずつご意見を伺います。
- 本日の説明会で発言できなかった方は、お断りした意見欄にご意見を記入いただき、会場出口の意見箱にて提出いただくか、後日、郵送・メール等によりお送りくださいようお願いいたします。
- なお、会場周辺にあるQRコードをスマートフォン等で読み取っていただき、インターネットよりご意見をお送りいただくことも可能です。
- いただいたご意見等については、後ほどとりまとめ、関川流域委員会の委員資料等でお送りさせていただきます。委員資料は関係機関ホームページに掲載予定です。なお、関係市町村川岸整備計画変更（原案）と関係関係のない内容についてはお断りしない場合があります。ご了承ください。
- 携帯電話は、電源をオフにするか、マナーモードにさせていただきますようお願いいたします。

マスクの方々へのお断り

- 関係機関が来場については、関係者の着席の支障とならないようお願いいたします。

2024.1.18

速 報

令和6年能登半島地震 関川・保倉川 地震災害（報告）

国土交通省 北陸地方整備局 高田河川国道事務所

第25回 関川流域委員会

今後の進め方

関川水系河川整備計画変更（原案）

令和5年12月8日
北陸地方整備局 高田河川国道事務所

資料2-1

●令和6年度能登半島地震 関川・保倉川 地震災害（報告）

●清流通信「川ッちゅ」第27号

●ご意見記入用紙

清流通信「川ッちゅ」第27号

関川水系のこれらの川づくりに
ご意見をお聞かせください

関川水系河川整備計画変更
【大臣管理区間】

第25回 関川流域委員会

令和6年1月15日(月) 18:30～20:00

浦川原コミュニティプラザ

令和6年1月17日(水) 18:30～20:00

ユートピアくびき希望館

令和6年1月18日(木) 18:30～20:00

市民プラザ

令和6年1月19日(金) 18:30～19:45

カルチャーセンター

令和6年1月21日(日) 14:00～14:50

オーレンプラザ

令和6年1月23日(火) 18:30～19:50

妙高市勤労者研修センター



流域説明会の様子

ご意見箱の設置

■ご意見をお寄せ頂いた件数とご意見の総数

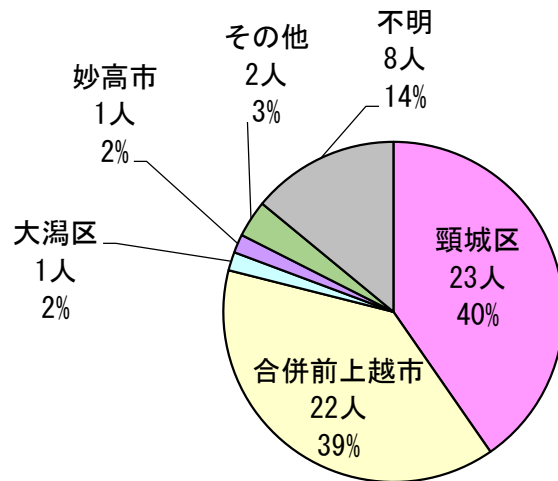
	ご意見をお寄せ頂いた件数 (件)			頂いたご意見の総数※ (件)		
	12/18～31	1/1～1/31	全期間	12/18～31	1/1～1/31	全期間
①意見箱	0	2	2	0	3	3
②インターネット	4	9	13	4	13	17
③郵送・メール・FAX	3	5	8	23	20	43
④住民説明会 ※()内は出席者数	22 (94)	—	22	39 (94)	—	39
⑤流域説明会 ※()内は出席者数	—	12 (21)	12	—	37 (21)	37
計	29	28	57	66	73	139

※「頂いたご意見の総数」の集計では、1名で複数のご意見をお寄せいただいた場合においても複数の意見数により集計している

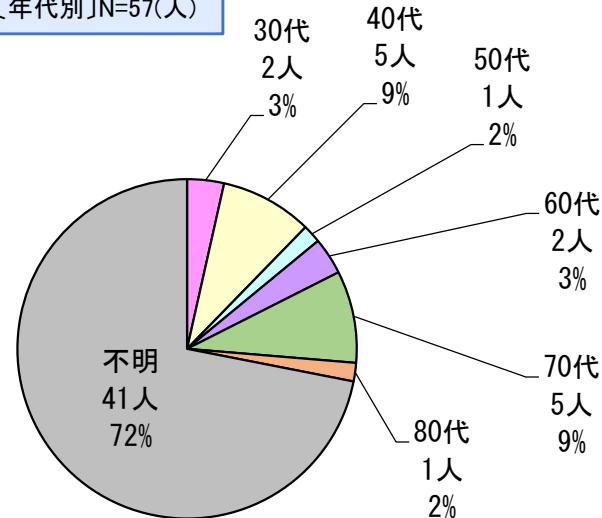
関川水系河川整備計画【大臣管理区間】変更（原案）に関する意見聴取（ご意見箱、インターネット、郵送、メール、FAXで募集）により頂いたご意見の内訳は以下のとおりです。

■全期間中にいただいたご意見分析結果

(1) 意見応募者属性
〔地区別〕N=57(人)

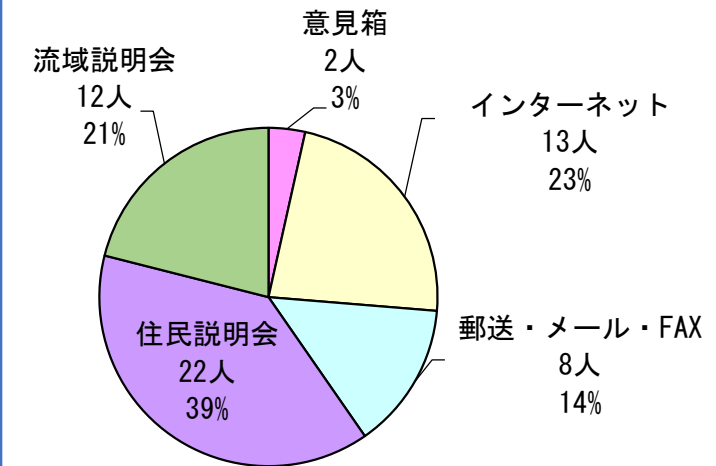


(2) 意見応募者属性
〔年代別〕N=57(人)

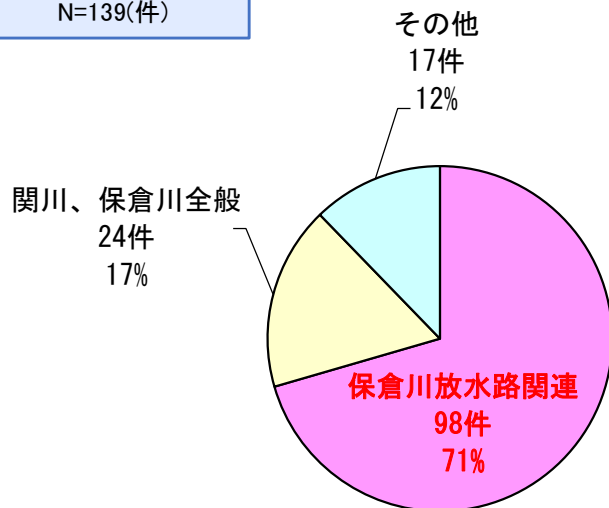


(3) 意見応募方法
N=57(人)

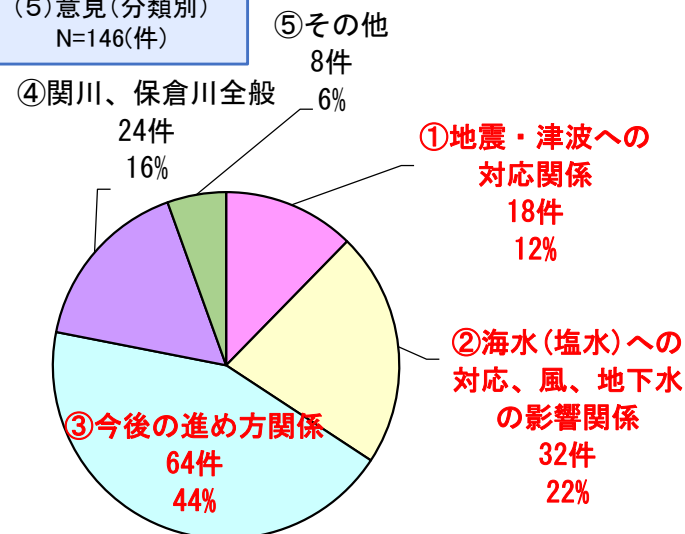
※1 (1)～(3)については、複数の方法で意見を出されている方が存在する可能性がある。



(4) 意見(分類別)
N=139(件)



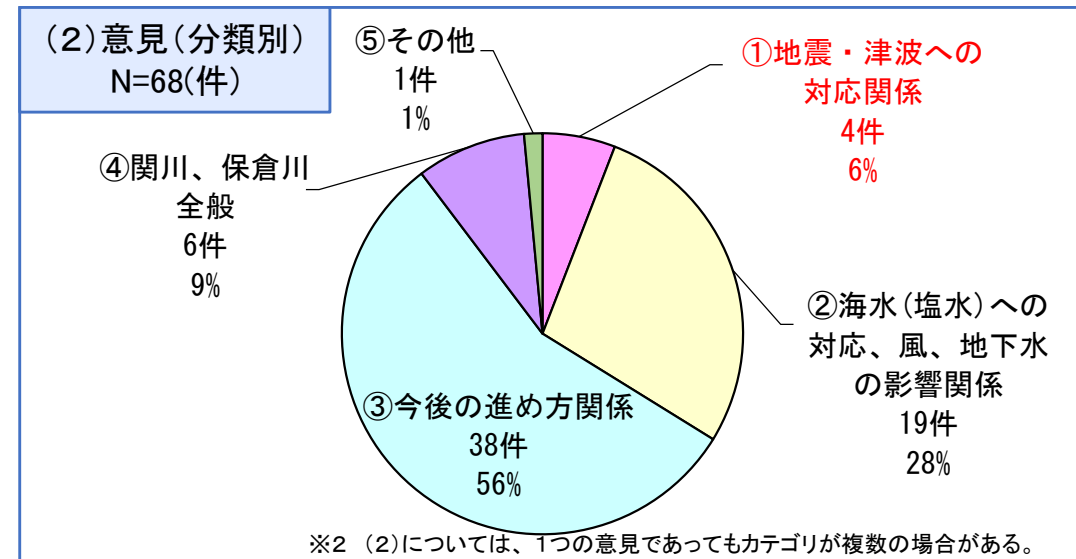
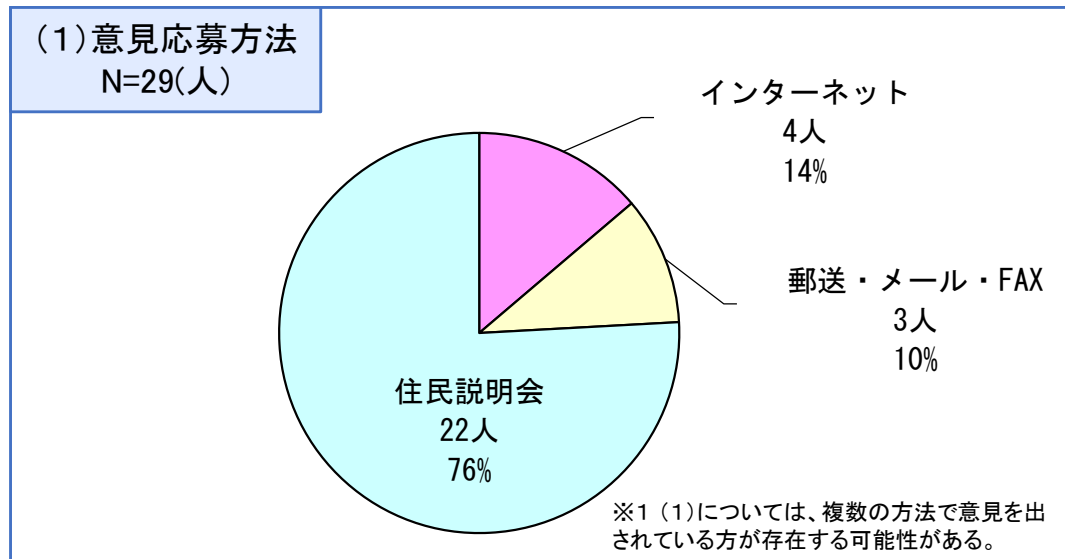
(5) 意見(分類別)
N=146(件)



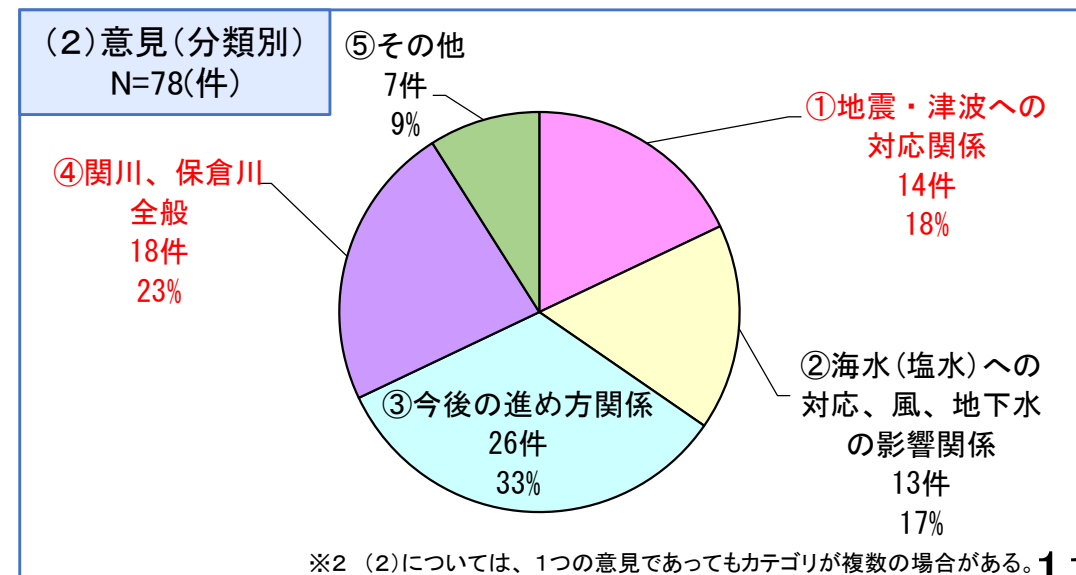
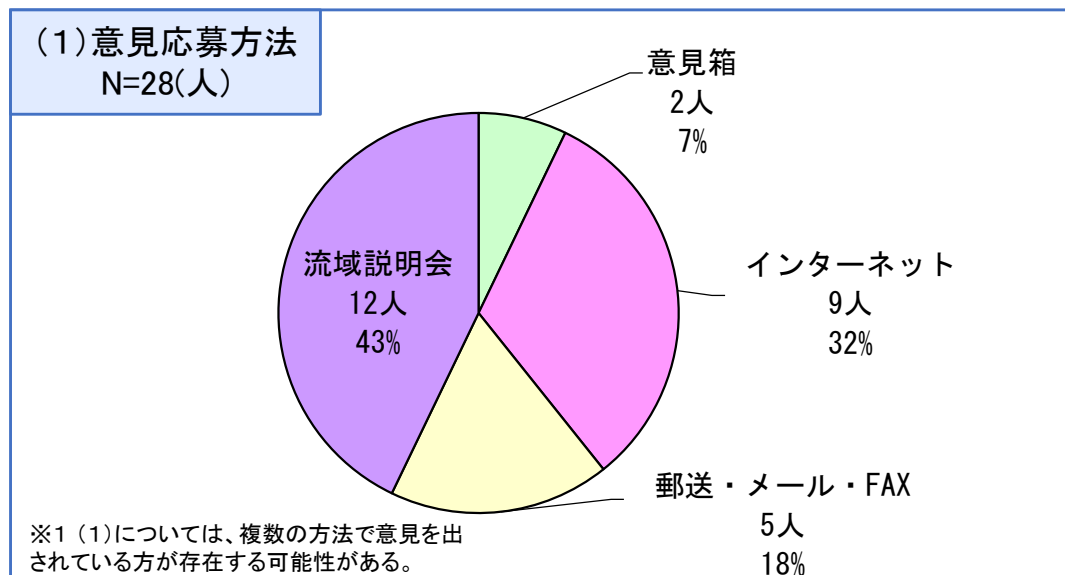
※2 (4) (5)については、1つの意見であってもカテゴリが複数の場合がある。

住民説明会を開催した12月は、今後の進め方関係のご意見が多く寄せられ、能登半島地震が発生した1月1日以降は、地震・津波への対応関係のご意見がそれ以前よりも多く寄せられました。

■12月中(12/18～31)にいただいたご意見分析結果



■1月中(1/1～1/31)にいただいたご意見分析結果



分類（カテゴリ）

保倉川放水路関連

○放水路整備後の津波に関するご意見

①地震・津波への対応関係

○平常時の放水路に海水（塩水）が存在することへのご意見

○津波対策及び平常時の海水（塩水）の存在に対し、
潮止堰整備を求めるご意見

②海水（塩水）への
対応、風、地下水の
影響関係

○放水路整備後の風、地下水の影響に関するご意見

○放水路整備の今後のスケジュール、移転等の見通し
について、早期の説明を求めるご意見

○早期の放水路完成を求めるご意見

③今後の進め方関係

関川、保倉川全般

○河川整備計画策定時（H21）からの事業費の大幅増
に対する費用対効果に関するご意見

○気候変動対応の着実な推進に関するご意見

④関川、保倉川全般

その他

⑤その他

分野	番号	頂いたご意見（主な内容）
地震・津波への対応関係	1	<p>今年1月1日に発生した能登半島地震においては津波が関川が遡上し、浸水被害が発生している。今後整備される保倉川放水路についても日本海に繋がる放水路であることから、地震による大規模な津波が発生した場合、関川同様津波が遡上し被害の発生が予想される。</p> <p>よって整備される保倉川放水路の堤防等は大規模な津波を予想したものになっているのでしょうか。</p> <p>また、津波や洪水被害を予想したハザードマップを上越市が発行しているが、保倉川放水路の整備によりハザードマップも大きく変化すると予想され、その点に関して上越市とどのような連携や情報共有をしているのでしょうか。</p>
	2	今回の能登半島地震と同じくらいの地震が起きた時に、津波に関する検証をしてほしい。
	3	<p>保倉川放水路整備で、地震・津波対策は十分なされるのか。</p> <p>能登半島～佐渡, 糸魚川～上越沖, 中越沖～新潟沖方面での地震・津波への対策を十分していただきたい。</p>
	4	<p>保倉川放水路については、津波がきた時、被害が出ると思いますので反対です。</p> <p>現在海岸線に10m以上の高さの居住地が続いているおかげで、それに続く海拔の低い平野部が守られているのですから、防護の大切な海岸を切ってはいけないと思います。</p>
	5	<p>津波の災害について</p> <p>今回の地震から学ぶ事は、能登半島の北東部に活断層があり、地震発生すると5～10分内に到達するとの情報があり、また中越沖に活断層（大）が報告されている。このことから、放水路へ津波到達すると、大きな被害が発生する。（水田の塩害、家屋の倒壊）</p>
	6	保倉川放水路の整備よりも、地震対策に比重を移した方がよい。

分野	番号	頂いたご意見（主な内容）
海水（塩水）への対応、風、地下水の影響関係	1	塩水の流入を防ぐため、放水路と用排水路との接続部には堰（樋門）を設けてほしい。
	2	夷浜の水田の揚水ポンプにモニタリングの装置を設置し、海水の浸透を含めて環境を監視してほしい。
	3	まず、常時海水が放水路に入るということは突然のことであり、その他、懸念が沢山有る状況で浮島町内として、原案について承知しましたとはならない。
	4	まさか海水が入ってくる河川がくると思ってなかった。内水が軽減するから仕方ないと思っていた。塩害は、稲作にも影響するため、潮止堰を設け、分派堰でゲートを設けて河川水を流してもらいたいの で、考えを変えてもらいたい。 海水が入らない形で進めていただきたい。浮島集落の意見。 海水が入らないように、さらに欲を言えば津波が入らないようにして欲しい。予測結果を見ると心配である。
	5	予算ありきの話だと思うが、そもそも潮止め堰を造った方が安いのではないか。矢板で対策するより、 そもそも海水が入らないようにすればよい。 海水が中に入ってくること前提とおっしゃいましたがそれがそもそも容認できない。 東日本大震災のとき、津波で塩害の影響を見てきたが、悪臭がすごかった。 数字だけ見せられても、納得できない。 海水が入ったとしても出すということをすべき。
	6	放水路は、3kmの川幅115mの河川となり、話しの中で常時海水が入っているとと言われても、一般の方はわからない。そのため、潮止水門は想定しておらず、圃場・松本住宅団地・工業団地等の近くに海水がくるような想定であることをしっかり明記して欲しい。
	7	潮止堰について、津波、塩害の心配より検討いただきたいと考える。

分野	番号	頂いたご意見（主な内容）
海水（塩水）への対応、風、地下水の影響関係	8	<p>今回の川っちゅで住民が一番気にかけていた放水路ルートがわかり、目標水量の引上げ、安全なまち作りは、理解できます。</p> <p>しかし、その3キロにもおよぶ放水路に通常は、海水だとは何も記載されていないため清流通信では、沿線に暮らす住民がこの資料ではイメージできないと感じます。</p> <p>保倉川放水路は、近年の関川水系流域に住んでいて急務だと感じています。潮止め水門については、今後の維持管理、持続可能な運営など施工計画する上、とても懸念されることかと思えます。しかし、今回幅広く意見を提出してもらう必要があるのならば、もっと地域住民が放水路によって変化するイメージを持たせて頂きたいと思いました。一体どれくらいの方が通常の保倉川放水路は、海水ということか。何故、【今のところ潮止め水門の計画は無く、放水路の通常は海水です】と清流通信には記載されないのか… これからも一緒に川づくりを考えていきたいと思えます。</p>
	9	<p>夷浜はこれまで水害とは無縁な土地ではあるが、強風の影響を受けてきた。中部電力の送電線の際は、騒音・落雪氷により住民が眠れない状況であった。その時に中部電力に類似した箇所がないか調べてもらったが、全国で同様な事例はないとの回答であった。日本海側であるためその影響もあったのかもしれない。そのような場所であるため、保倉川放水路によって、風の被害が生じるのではないかと危惧している。少しでも早く具体的な対策の説明をしてほしい。</p>
	10	<p>保倉川放水路のルート位置が決定したが、放水路流量が増えたことにより、川幅が増えたと理解して良いのか。また、増えた川幅は、東側へ増やしたのか？このルート決定にはどのような根拠があるのか。ここは特殊な場所であるため、放水路によって風の影響が増大することになるが、風について影響が小さいように見えてしまう。緩衝帯を設ける等、環境に対する協議を今後町内と真剣に行っていただきたい。</p>
	11	<p>夷浜町内では地下水を飲料水として使用している家庭がある。地下水を引き続き飲用として使用できるのか確認してほしい。</p>
	12	<p>砂丘地付近では、地下水位の比較的高い箇所での開削となるが、漏水防止工法はどのように計画しているか？</p>

分野	番号	頂いたご意見（主な内容）
今後の進め方関係	1	道路ネットワークが決まってから用地買収とか、大きな目標（スケジュール）みたいなものはあるか。
	2	最終的な完成年度が決まっているが、逆算すれば、いつまでに何々とか分かると思うが。なんでこんな質問するかというと、かかる人には高齢化が進んで、新築しないで１人賃貸にするとか考えなくてはならない。
	3	放水路の話がH8で出て、H21で30年でと出た。今回（整備計画を）変更していただけるのはありがたいがその度にまた30年度言われる。地元は早くやってほしい。新潟県の財政ひっ迫は分かるがお願いしたい。
	4	放水路ルートに係わる関係地域住民の理解、了解を得るのが先決かと思いますが、24年度以降、橋梁形状、関係施設等の概要について、あるいは、工事着工の年月等、おおまかな【工事計画】を示していただけませんか。適宜、上越市民に対する説明会の開催もお願い致します。
	5	<p>保倉川放水路について</p> <p>地球温暖化に伴い、従来にない大雨も発生していくことが予測される。防災・減災のためにも放水路は必要であり、早急に工事着工しなければならないと考える。</p> <p>但し、放水路にかかる地区の住民としては以下について要望します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 放水路にかかる地権者への買収説明（時期、補償金） 2. 放水路によって移動しなければならない住民への代替地の提示 3. 放水路に架ける橋は、現行の南川線および中部線に架けて欲しい 4. 下三分一の世帯数が減るため、一世帯あたりの町内会費の負担が増す。負担が増えないように補助を願いたい。

分野	番号	頂いたご意見（主な内容）
今後の進め方関係	6	<p>保倉川放水路について前回の説明会にも出席しましたが下記について要望と質問があります。</p> <p>（要望）私は放水路のエリアに当たっていますが説明会では、その関係について説明もなく質問が出来る感じではない為、当たっている家だけの説明会を強く希望します。</p> <p>（質問）</p> <p>保証について細かく説明して欲しいです。（保証内容、今後の流れ、現在の家に最長いつまで住めるのか、代外地関係、その他等）</p> <p>◎一生の場所として家を建てて放水路に当たったからすいませんでは今後の予定すら不安です。仕事や生活等にも関係する為、しっかり対応よろしく願いいたします。</p>
	7	<p>私たちの地域は、保倉川放水路の計画案の移転地域に当たっています。</p> <p>住民代表として(地域のリーダーとして)該当の皆さんの意見をまとめてお伝えしたいと思います。</p> <p>いの一番に考えてほしいのは、一番最初に私たちの理解と移転という犠牲があって初めて行われる工事計画と実施であるということをお忘れなでほしいという意見が多数あがっています。</p> <p>地域に残る方の未来の環境ももちろん大切ですが、放水路に当たる住民専用の説明会を開いてほしいというのが、皆さんの総意です。</p> <p>地震もあり、今まで以上に計画の見直しや計画の実施が難しく大変かと思いますが、丁寧で真摯な対応こそが、誰にとっても明るい安心するまちづくりの第一歩だと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。</p>
	8	<p>昨年の12/8に今後の進め方を公表しておりますが今後30年間の大まかなターニングポイント、マイルストーンを早く公表していただきたい。</p> <p>それにより、大げさなことを言うとうどう人生を歩むかが決まります。是非とも公表していただきたい。</p>
	9	<p>今後の保証についてや、移転についてのご対応や方針等については、いつ頃、どのようにご説明ありますでしょうか。宜しく願いいたします。</p>

分野	番号	頂いたご意見（主な内容）
関川、保倉川全般	1	絵に描いた長所しか述べていないのでは？ 報道にもあったが当初500億程度から1600億程度費用が掛かるようだが、この1600億に見合った効果があるとは到底考えられない。また、この1600億は一体誰が負担するのか？全額税金？ この放水路建設にあたり、いわゆる恩恵を受ける住民、企業の住民税や法人税を上げる等の措置は勿論必要と考えるが当然であろう。何せ、1600億である、もう一度問う、そこまでの価値はあるか？
	2	河川の氾濫を危惧しております。一度の降水量が大変多くなってきております。このエリアも例外ではないのでしょうか。他のエリアの水害（浸水被害）をテレビの報道で見えています。 30年計画のようですが、なるべく早めの対応（水害防止）をお願いいたします。 温暖化が進んでいる状況なのではないのでしょうか？ よろしくお願いいたします。
	3	放水路ができるまでまだ月日がかかると思うが地震・大雨などの自然災害時の避難時の連絡方法がとられていないことが問題点、高齢化に伴ってお互いにどうやって連絡するか町内会・頸城区・各家庭で真剣に考える時だと思えます。
	4	関川と保倉川の合流のしかたを改善して頂きたい。 今回の見直しを超えた大雨の場合等で、この部分の水流がスムーズでないと、バックウォーター現象などで、下流域での内水氾らん、家屋・工場の浸水の危険がある。（例えば倉敷市小田川）
	5	河川の氾濫を危惧しております。一度の降水量が大変多くなってきております。このエリアも例外ではないのでしょうか。他のエリアの水害（浸水被害）をテレビの報道で見えています。 30年計画のようですが、なるべく早めの対応（水害防止）をお願いいたします。 温暖化が進んでいる状況なのではないのでしょうか？よろしくお願いいたします。

分野	番号	頂いたご意見（主な内容）
その他	1	<p>去年は春以後、高温、少雨の月が多く、5,6年は続いています。気候変動等が当たり前で、梅雨時期がなくなっていると思う。</p> <p>最近は、干ばつによる被害が発生して、河川や貯水池の渇水も深刻です。（矢代川）</p>
	2	<p>今回の流域説明会の在り方について</p> <p>2回会場に出席したが、出席者が少なかった。関係町内長等出席（周知方法）PR不足。</p> <p>再度徹底した議論が必要と思われる。（若人の不参加）</p>

番号	意見方法	お住まい	分類・項目					頂いたご意見
			保倉川放水路関連			④ 関川・保倉川全般	⑤ その他	
			① 地震・津波	② 海水、風、地下水	③ 進め方			
1	住民説明会	頸城区			○			<p>※頂いたご意見については原文、若しくは説明会でのご発言をそのまま掲載しております。 ※なお、説明会でのご発言については文脈等から一部括弧書きで主語等を追記しております。 ※頂いたご意見の中で特定の個人を識別可能な部分については、個人情報保護の観点から当該部分を黒丸表示としています。</p> <ul style="list-style-type: none">下三分一町内会のコミュニティ作りが何よりも大切である。下三分一町内は歴史がありしっかりと保っていきたい。60～80代が検討するよりも、30～50代の方々を含めて検討していただきたい。今後、市から提示されるプランの中では橋や通学路が町内にあり考慮していただきながら、互いに話し合いをしてもらいたい。事前に資料を配布いただくことはできないか。町内としても事前に確認して意見をまとめておきたい。今日ここでいただいただけじゃなかなか意見が出ない。
2					○			<ul style="list-style-type: none">30年計画ということで、30年後に出来るのか。どんな感じで工事していくのか。海側からなのか、保倉川からなのか。放水路には常に水があると思われるが、保倉川の水か。工事手順は、海側からなのか、保倉川からなのか。
3				○				<ul style="list-style-type: none">高速道路によるビル風等の影響はないのか。今確認しているよりもっと南側まで影響が出るのではないか。河口付近は（火力発電の排水の影響で）海水の温度が高いが、放水路を融雪施設として利用することを（市は）考えているか。
4						○		

番号	意見方法	お住まい	分類・項目					頂いたご意見
			保倉川放水路関連			④ 関川・保倉川全般	⑤ その他	
			① 地震・津波	② 海水、風、地下水	③ 進め方			
※頂いたご意見については原文、若しくは説明会でのご発言をそのまま掲載しております。 ※なお、説明会でのご発言については文脈等から一部括弧書きで主語等を追記しております。 ※頂いたご意見の中で特定の個人を識別可能な部分については、個人情報保護の観点から当該部分を黒丸表示としています。								
5	住民説明会	頸城区			○			・ 補償の話。半分土地かかる人は、補償も半分なのか。
6					○			・ 事業のスケジュール、他の事例と比べれば何となく分かるものなのか。
7					○			・ 毎回説明会で言っているがスピード感を持ってやって頂きたい。 新潟日報に30年そんなにかかるのかという印象を受けた。 基本方針の変更で、放水路が遅れたという印象もある。 こういった説明会が増えることを考えると、コミュニティの核となる町内会館が必要なため、お願いしたい。道路ネットワークの議論を進めるためにも来年お願いしたい。
8					○			・ 橋のイメージ図などは早めに見せて欲しい。建物に対してどれくらいの高さが出てくるのか、早めに知りたい。 附図を見ると、（下三分一地区の）擦り付けがだいぶ高いように見える。
9		合併前上越市				○		・ 河川整備計画の変更に伴い、保倉川放水路の分派量が700m³/sから900m³/sに変更された。河川整備基本方針における上流での従来の計画雨量は12時間185mmだったが、今回の変更でどのように変わったのか。
10				○			・ 保倉川本川から放水路へ分派する固定堰の高さに変更はないか。 環境調査検討委員会の変更概要の説明（第2回保倉川放水路環境調査検討委員会（R5. 12. 8開催）資料2P11）で、放水路の追加対策として拡幅「等」と記載されているが、拡幅以外の計画とは何か。 道路や鉄道が放水路によって分断されることとなるが、両岸のアクセスのための橋梁や、袋小路になった道路の橋梁へのアクセスに関して、どのように考えているか。また、事業費を算定しているので橋梁の数などは決まっているのではないか。	

番号	意見方法	お住まい	分類・項目					頂いたご意見
			保倉川放水路関連			④ 関川・保倉川全般	⑤ その他	
			① 地震・津波	② 海水、風、地下水	③ 進め方			
11	住民説明会	合併前上越市		○				・ 水田への影響に絞った検討は行われるのか。現在は潟川を用排水路として使用しており、水田に海水が流入する懸念がある。
12				○				・ 夷浜の水田の揚水ポンプにモニタリングの装置を設置し、海水の浸透を含めて環境を監視してほしい。
13				○				・ 塩水の流入を防ぐため、放水路と用排水路との接続部には堰（樋門）を設けてほしい。ルート内に調整池もあるが認識しているか。どう対応する予定か。
14				○				・ 夷浜はこれまで水害とは無縁な土地ではあるが、強風の影響を受けてきた。中部電力の送電線の際は、騒音・落雪氷により住民が眠れない状況であった。その時に中部電力に類似した箇所がないか調べてもらったが、全国で同様な事例はないとの回答であった。日本海側であるためその影響もあったのかもしれない。そのような場所であるため、保倉川放水路によって、風の被害が生じるのではないかと危惧している。少しでも早く具体的な対策の説明をしてほしい。
15					○			・ 保倉川放水路のルート位置が決定したが、放水路流量が増えたことにより、川幅が増えたと理解して良いのか。また、増えた川幅は、東側へ増やしたのか？このルート決定にはどのような根拠があるのか。
16				○				・ ここ（夷浜地区）は、特殊な場所であるため、放水路によって風の影響が増大することになるが、風について影響が小さいように見えてしまう。緩衝帯を設ける等、環境に対する協議を今後町内と真剣に行っていただきたい。
17				○				・ 夷浜町内では地下水を飲料水として使用している家庭がある。地下水を引き続き飲用として使用できるのか確認してほしい。
18				○			・ 今後30年度に完成とあるが、工事開始はいつになるのか。	

番号	意見方法	お住まい	分類・項目					頂いたご意見
			保倉川放水路関連			④ 関川・保倉川全般	⑤ その他	
			① 地震・津波	② 海水、風、地下水	③ 進め方			
19	住民説明会	頸城区		○				・公式にルートが示された。12月8日に両委員会も拝聴して、個々に懸念事項が有るが、浮島地区が永遠に影響を受ける地域なのではと感じた。 まず、常時海水が放水路に入るとことは突然のことであり、その他、懸念が沢山有る状況で浮島町内として、原案について承知しましたとはならない。 詳細を示してもらわないと良いですと言えない。反対されている方、仕方ないと思っている方、地区内の全体の思いである。
20				○				・海水をなぜ入れなければならないのか。浮島地区としては、内水氾濫を防ぐことを考え、放水路のお話をこれまで聞いてきた。 海水が入っていると、900m³/s流下させる時に邪魔にならないのか。
21					○			・附図の横断図を見て、水面幅の違いはなにか。
22			○					・人為的な操作等言っているが、お金をかけたくないように聞こえる。安全第一で考えていただきたい。津波が来ても安全を確保するため防潮水門を設置して欲しい。
23				○				・まさか海水が入ってくる河川がくると思ってなかった。内水が軽減するから仕方ないと思っていた。 塩害は、稲作にも影響するため、潮止堰を設け、分派堰でゲートを設けて河川水を流してもらいたいので、考えを変えてもらいたい。
24				○				・掘り下げなければ、海水が入ってこないのでは。我々は、ポンプで処理してもらおうと考えているから、水位が高くてもよい。
25			○	○				・海水が入らない形で進めていただきたい。浮島集落の意見。 海水が入らないように、さらに欲を言えば津波が入らないようにして欲しい。予測結果を見ると心配である。

番号	意見方法	お住まい	分類・項目					頂いたご意見
			保倉川放水路関連			④ 関川・保倉川全般	⑤ その他	
			① 地震・津波	② 海水、風、地下水	③ 進め方			
※頂いたご意見については原文、若しくは説明会でのご発言をそのまま掲載しております。 ※なお、説明会でのご発言については文脈等から一部括弧書きで主語等を追記しております。 ※頂いたご意見の中で特定の個人を識別可能な部分については、個人情報保護の観点から当該部分を黒丸表示としています。								
26	住民説明会	頸城区			○			・堤防は高くしてしまうと氾濫した場合大変となることと理解した。 渦川を広くすることや調整池等を作ることで、浮島集落を川にならないようにして欲しい。
27					○			・放置されている田んぼや畑が散在しているため、土地を利用してもらいたい。そして放水路の川幅を狭くしてもらいたい。 上流側の河川でも流域全体で治水を行ってもらい浮島が悪くならないように進めてもらいたい。
28			○					・以前の講演会で、5m以上の津波が来ると言われていたことを信じている。そのような状況で、私は土地を売る気はない。
29						○		・保倉川の川幅が放水路よりも狭い。保倉川の河床を掘るなどもして欲しい。
30					○			・ゲートなどを設けないのであれば、放水路に900m³/sを超える水が流れる可能性があるのではないかと。 ・保倉川本川よりも放水路の方が、設定流量について多いのだから、超過洪水が来たら、放水路のほうに流れやすくなるのではないかと。
31			○					・火力埋立部の箇所になるため、津波が収斂してくる可能性もある。
32				○				・衝撃的です。 予算ありきの話だと思うが、そもそも潮止め堰を造った方が安いのではないかと。矢板で対策するより、そもそも海水が入らないようにすればよい。 各種排水を分断するため、疑問点がたくさんある。 海水が中に入ってくること前提とおっしゃいましたがそれがそもそも容認できない。 東日本大震災のとき、津波で塩害の影響を見てきたが、悪臭がすごかった。 数字だけ見せられても、納得できない。 海水が入ったとしても出すということをするべき。

24

番号	意見方法	お住まい	分類・項目					頂いたご意見
			保倉川放水路関連			④ 関川・保倉川全般	⑤ その他	
			① 地震・津波	② 海水、風、地下水	③ 進め方			
33	住民説明会	頸城区		○	○			・手法の疑問点、これまで（ルート帯）必ずA案、B案あったがなぜ今は複数案比較ではなく潮止堰無しだけの結果しかないのか。 ・水質については海水が入っていく前提だと思うが、データはどうだったか。 ・固定堰、河口堰については決定か。
34				○				・淡水のみの予測計算はできるのか。そのような検討もできるのか。
35				○				・12月8日の流域委員会を聞いていて、2重の矢板という説明があった。 今日の新聞で1月末までに意見をまとめるとあるが、そこで意見すれば良いか。 12月8日に1600億と示されたが、それ（潮止堰有り）との比較をお願いしたい。 渦川との合流点処理についても未決定であるが、1600億とするのはなぜか。
36				○				・（潮止堰について）流動的な考え方であることは了解。 地域の住民の方はどう思っているのか。
37				○				・（第2回保倉川放水路環境調査検討委員会（R5. 12. 8開催）資料6P4～5）西北西はなぜ代表なのか。
38						○		
39					○			・松本 900オーバーフローか。 7, 8月は川の水位は低い。

番号	意見方法	お住まい	分類・項目					頂いたご意見
			保倉川放水路関連			④ 関川・保倉川全般	⑤ その他	
			① 地震・津波	② 海水、風、地下水	③ 進め方			
※頂いたご意見については原文、若しくは説明会でのご発言をそのまま掲載しております。 ※なお、説明会でのご発言については文脈等から一部括弧書きで主語等を追記しております。 ※頂いたご意見の中で特定の個人を識別可能な部分については、個人情報保護の観点から当該部分を黒丸表示としています。								
40	インターネット	合併前上越市				○		・ 時間がかかるのでできるだけ速やかに早く進めてほしい。
41		その他		○				・ 放水口の海の先にハッピーフィッシングがあり、淡水と泥の影響で釣り場が壊滅します。放水口は大潟漁港寄りに変更してください。マダイなど沖磯の魚が釣れる奇跡の釣り場を失うのはどうしても納得いきません。地域の人だけの海ではありません。
42		合併前上越市				○		・ 絵に描いた長所しか述べていないのでは？ 報道にもあったが当初500億程度から1600億程度費用が掛かるようだが、費用を算出した役人？は馬鹿、能無しか？ この1600億に見合った効果があるとは到底考えられない。 また、この1600億は一体誰が負担するのか？全額税金？阿保か？ この放水路建設にあたり、いわゆる恩恵を受ける住民、企業の住民税や法人税を上げる等の措置は勿論必要と考えるが当然であろう。 何せ、1600億である、もう一度問う、そこまでの価値はあるか？馬鹿共。
43		不明					○	・ 保倉川放水路→日本海→保倉川→分水路分岐地点で10キロちょっとあります。 10キロはジョギングするに1時間ほどかかりちょうど良い運動量であるためランナーが集う場所になる可能性があります。 出来る限り信号のない舗装された歩道を整備していただきトイレも2ヶ所ほどあると安心できるジョギングコースになってほしいです。

番号	意見方法	お住まい	分類・項目					頂いたご意見
			保倉川放水路関連			④ 関川・保倉川全般	⑤ その他	
			① 地震・津波	② 海水、風、地下水	③ 進め方			
44	手紙	不明			○			・住民と議論しながら放水路の幅がどれだけ必要かを議論するということであるが、保倉川は幅が100mないはず。【本流】本流が狭いのに放水路【支流】が最大115mというのは理解できない。放水路は本流と同程度の幅でよい。 本来、本流が広く支流が狭いのが通例である。どうしても最大115mというのであれば、本流もその幅にしてから、放水路を検討することにする。 住居の移転などで工事費が嵩むという等の理由ではダメ。納得できる回答をすること。
45					○			・計画ルートの西側の遊光寺側の土地について、中部電力の地下埋設の送電線との間の土地を有効利用して、計画ルートを西側に変更すること。【土地が現在でも荒れ放題になっている。草ボウボウ等環境の悪化が問題になっている。】
46					○			・以前の説明では、概略ルート幅200mの中でルートを収めたいという話しであったが、郵便局の付近については、概略ルートを超えた計画ルートが今回示されている。以前と話しが違う。【東側にルートがずれている。】
47					○			・関川流域委員会で計画ルートが決定したという報道がなされているが、関川流域委員会の決定は決定ではなく、合意に達したという文言が正しい。地域住民全員の了解が得られなければ、決定という文言は使えない。今後、合意という文言を使用すること。 ルートの合意に至るまでの間、住民抜きで議論している。机上での計画ルートでしかすぎない。 12月16日の説明会で納得できる回答をすること。
48					○			・2020年12月24日上越タイムスには、調査を受け入れたからといって、計画全てを賛成したわけではないと町内会長の記事が掲載されている。 新聞、報道、ネットでは、夷浜町内は消極的賛成に転じたとなっている。いつの時点で消極的賛成と捉えたのか。会長の考え方と食い違いがある。賛成したわけでもないのに、事業を進めておかしくないのか。町内の意思確認が先のはず。反対がいれば、やっていることは全てムダになる。

番号	意見方法	お住まい	分類・項目					頂いたご意見	
			保倉川放水路関連			④ 関川・保倉川全般	⑤ その他		
			① 地震・津波	② 海水、風、地下水	③ 進め方				
49	手紙	不明			○			※頂いたご意見については原文、若しくは説明会でのご発言をそのまま掲載しております。 ※なお、説明会でのご発言については文脈等から一部括弧書きで主語等を追記しております。 ※頂いたご意見の中で特定の個人を識別可能な部分については、個人情報保護の観点から当該部分を黒丸表示としています。	
50					○				・ 200mの概略ルートでは郵便局の西側を放水路は通る計画であったが、どうして当初よりも東側に変更になったのか。遊光寺側の土地は空いているので、そこを有効利用すれば、その分、家屋の移転は減ると思われる。
51					○				・ 今回示されたルートには、堤防、管理道路は含まれているのかどうか。堤防、管理道路を含めると130mくらい必要と新聞報道ではなされているが。
52					○				・ 170軒の家屋移転が必要とのことであるが、何年程度かけて移転交渉をするのか。
53		合併前上越市				○			・ 放水路計画の了解について、住民の確認をどのようにするのか。個人個人について、書面での確認をとること。 12月16日の説明会で、納得できる明確な回答をすること。 地元は黙っていない。行政不信が募っている。
54					○				・ （放水路への流量配分が、700m³/sから900mm³/sに計画変更されるが、）基本高水流量2,100m³/sは、上流域での12時間降水量が185mmから何mmに計画変更となったのか。
55						○			・ （放水路への流量配分が、700m³/sから900m³/sに計画変更されるが、）固定堰の高さは変更ないと思われるが、いかがか？
56					○				・ 環境調査検討委員会資料2 P11:変更概要説明で放水路の追加対策（拡幅等）が実現可能・・・と（現行計画より水面幅を1～2割程度拡幅）説明されているが、拡幅以外の計画とは何か？
					○		・ 国道8号、JR信越本線、県道大湊上越線・大湊直江津線、他に数多くの市道・農道が介在。 工場等職場への通勤、学校・保育園等への通学、介護施設への送迎等、放水路両岸のアクセス（交通手段）は、自然環境の影響以上に関係者の生活環境に変化を与える。 （変更計画では、放水路で517.5億円、附帯工事費で212.5億円と事業費計上）		

番号	意見方法	お住まい	分類・項目					頂いたご意見
			保倉川放水路関連			④ 関川・保倉川全般	⑤ その他	
			① 地震・津波	② 海水、風、地下水	③ 進め方			
※頂いたご意見については原文、若しくは説明会でのご発言をそのまま掲載しております。 ※なお、説明会でのご発言については文脈等から一部括弧書きで主語等を追記しております。 ※頂いたご意見の中で特定の個人を識別可能な部分については、個人情報保護の観点から当該部分を黒丸表示としています。								
57	合併前上越市				○			（上記より） ・一般的に放水路における橋梁間隔は平均約270mと聞いているが、本放水路にはいくつ橋が架かる事業計画なのか？
58					○			（上記より） ・放水路で分断され橋が架からない道路は袋小路となる恐れがある。建設される橋までの迂回連絡道路は構築される計画はあるのか？
59					○			・砂丘地付近では、地下水位の比較的高い箇所での開削となるが、漏水防止工法はどのように計画しているか？
60	手紙	不明			○			・番号44～52のように質問を上越市に提出したが、12月16日の説明会では、ほとんど回答がなかった。無視され、バカにされている。 このままでは生活が破壊されるという思いから提出したが、門前払いを受けた。このままでは事業に全く協力できない。
61					○			・概略ルート幅200mということであるが、説明会でも質問があったが、川幅が115mに広がったため東側にずれ、当初かからなかった家屋がかかるようになったということであるが、堤防、管理道路を含めて130m程度ということであり、東側にずれたとしても、70mの余裕があり、その中（概略ルート）に収めるべきである。その分、概略ルートの西側は空くということになる。全く納得できない。絶対に譲れない事項である。（概略ルートの西端から130mとなれば、概略ルートの中で収まる。） 中部電力があるのはわかっていたはず。
62					○			・家屋移転は最小限ということなのに、言っていることとやっていることが正反対。ルートの変更（概略ルートに沿って）をすること。概略ルートをはみ出すことのないように。
63					○			・概略ルートで、ルートが示されると思っていたのに裏切られた気持ち。→人間不信

番号	意見方法	お住まい	分類・項目					頂いたご意見
			保倉川放水路関連			④ 関川・保倉川全般	⑤ その他	
			① 地震・津波	② 海水、風、地下水	③ 進め方			
64	手紙	不明			○			※頂いたご意見については原文、若しくは説明会でのご発言をそのまま掲載しております。 ※なお、説明会でのご発言については文脈等から一部括弧書きで主語等を追記しております。 ※頂いたご意見の中で特定の個人を識別可能な部分については、個人情報保護の観点から当該部分を黒丸表示としています。
65					○			
66					○			
67	流域説明会	合併前上越市				○		・ 森本から河口まで、保倉川を見てきた。堤防整備等出来ている。H7年7.11水害はどのような要因で発生したのか？ ・ 放水路は必要なのか？森本～三分一まで、河川の中に木が繁茂している。そのためか、青野～下吉野に避難勧告が出ている。洪水時見ると、木にゴミが付着し、水位が上がっている。木も年々太くなっている。 ・ また遊水地についても管理がなっていない。桜の木が植えられたけど、誰も管理していない。私は、10年間、無償で堤防除草や木の剪定を行ってきた。そのことは町内会長からは誰かがやるから、県がやってくれないのではと言われて、止めたら、森本～岡沢は舗装となった。管理をしっかりと欲しい。

番号	意見方法	お住まい	分類・項目					頂いたご意見	
			保倉川放水路関連			④ 関川・保倉川全般	⑤ その他		
			① 地震・津波	② 海水、風、地下水	③ 進め方				
68	合併前上越市	不明		○		○		※頂いたご意見については原文、若しくは説明会でのご発言をそのまま掲載しております。 ※なお、説明会でのご発言については文脈等から一部括弧書きで主語等を追記しております。 ※頂いたご意見の中で特定の個人を識別可能な部分については、個人情報保護の観点から当該部分を黒丸表示としています。	
69			○						・ 海拔はどれくらいなのか。上越市下五貫野で塩水遡上が発生しているため、どのような高さか知りたい。
70						○			・ テレビで、能登から佐渡までの断層帯で北東が動いていないと言っていた。そのため、心配である。そして、今回避難するとなったら、みんな車で動いていた。渋滞等発生するため避難場所が必要なのではないか。
71	流域説明会	不明	○	○				・ （河川管理用の）カメラなどを付けたら、お知らせして欲しい。これからは町内会長にでも良いので説明してください。	
72				○				・ 以前、新発田川放水路の見学にいった。海との境に水門があった。新聞には、保倉川放水路は河口部の水門などがなく海水が入ると書いて有ったが、本日の説明にはなかった。今回の津波がきたら影響もあるだろうから、お金がかかる話ではあるが、これから長くお付き合いする人が納得いただく回答をお願いしたい。	
73				○				・ 放水路は、3kmの川幅115mの河川となり、話しの中で常時海水が入っていると言われても、一般の方はわからない。そのため、潮止水門は想定しておらず、圃場・松本住宅団地・工業団地等の近くに海水がくるような想定であることをしっかり明記して欲しい。	
74			○					・ 放水路から潟川へ海水が入らないのか？新堀川は、海水が入らないようにしている。放水路周辺については、大雨となると田んぼが池のようになる。放水路と潟川用排水路がつながるとこれまで、2日位で引いていた水が、もっと処理に時間がかかるようなことは無いのか。	
75					○			・ 津波について、保倉川からと放水路からはいつてくる津波がダブルとなるため、不安である。関東の荒川などでは、堤防がしっかりしているときいている。訴訟が起こらないような対応をおねがいしたい。	
75					○			・ 河口堰等がないのであれば「放水路」ではなく、「分流」や「切り回し」ではないのか。	

番号	意見方法	お住まい	分類・項目					頂いたご意見
			保倉川放水路関連			④ 関川・保倉川全般	⑤ その他	
			① 地震・津波	② 海水、風、地下水	③ 進め方			
76	流域説明会	不明		○				・ 固定堰となれば、放水路の水質も考えて保倉川の水をいれたらどうかと思う。
77		合併前上越市				○		・ 保倉川と関川の合流点はT字で交わっているため、バックウォーターが起きるのでは無いか。以前発生した真備町のバックウォーターが記憶に新しく、そこは、合流の仕方が悪かったため、合流を直している。放水路も良いのだが、合流部について直角に流さない検討をする必要があるのではないかと。以前市議会でもお話したが。
78			○	○				・ 潮止堰について、津波、塩害の心配より検討いただきたいと考える。河北潟放水路を見に行ってきたが、既存の堰が老朽化して、新しくつくっていた。 なお、今回の津波は、L 1・L 2 どちらだったのか。 今回の地震による液状化の被害も心配している。
79			その他				○	
80						○		・ 2℃上昇すると降雨が1.1倍になるということか。計算するとそうなるのか。
81						○		・ 基本方針の流量は1.1倍の流量になっているのはなぜ？2,600から3,200と1.1倍以上。
82						○		・ 基本方針と整備計画は雨が違うのか？
83					○			・ (第25回関川流域委員会資料2-1)P11の資料の平面図・横断図についての説明をお願いします。幅は115mというのは？ これが用地幅か？

番号	意見方法	お住まい	分類・項目					頂いたご意見	
			保倉川放水路関連			④ 関川・保倉川全般	⑤ その他		
			① 地震・津波	② 海水、風、地下水	③ 進め方				
84	流域説明会	その他			○			※頂いたご意見については原文、若しくは説明会でのご発言をそのまま掲載しております。 ※なお、説明会でのご発言については文脈等から一部括弧書きで主語等を追記しております。 ※頂いたご意見の中で特定の個人を識別可能な部分については、個人情報保護の観点から当該部分を黒丸表示としています。	
85					○				・ 計画河床高・計画高水位の決め方を教えて欲しい。
86		合併前上越市			○				・ 海の方は海底、上流は保倉川河床に合わせているのか？
87					○				・ 保倉川放水路のような整備手法は他の事例がほかの自治体などであるか。他地整も含めたらあるか？最近のものはあるか。
88			○						・ 放水路に津波は遡上するのか。津波対策について伺う。タイムリーな話題なので今後も丁寧な説明をお願いします。
89					○				・ (第25回関川流域委員会)資料2-1、p. 23のコミュニティ形成について現時点でイメージを教えて欲しい。
90					○				・ 海岸から内陸への道などもまちづくりの基点として今後考えていけるのではないか。八千浦地区の再開発にもつながる。
91							○		・ ユートピアくびきの説明会にも参加したが前回の整備計画変更時に比べると少ない。町内会に声掛けなどしているのか。地域の人は関心が無い。
			○						・ この前の地震で津波の警報があった。頸城（内陸）にも車が渋滞していた。みんな避難していた。（平成7年）放水路の周りは保倉・飯田どちらが溢れたかわからないが。ここは低い場所で堤防も高く保倉川に水を出せない。活断層はもっと大きなものがある。もっと大きな津波が来る、5mも来ると研究者が言っていた。東北震災では津波が来るまで30分あったがその時の警報は4～5mとされて逃げ遅れたものが多かった。保倉川は200mmの雨が降ると大変なことがある。検討の余地があると思う。保倉川放水路の整備よりも、地震対策に比重を移した方が良い。

番号	意見方法	お住まい	分類・項目					頂いたご意見
			保倉川放水路関連			④ 関川・保倉川全般	⑤ その他	
			① 地震・津波	② 海水、風、地下水	③ 進め方			
※頂いたご意見については原文、若しくは説明会でのご発言をそのまま掲載しております。 ※なお、説明会でのご発言については文脈等から一部括弧書きで主語等を追記しております。 ※頂いたご意見の中で特定の個人を識別可能な部分については、個人情報保護の観点から当該部分を黒丸表示としています。								
92	流域説明会	合併前上越市					○	・（意見募集の）案内、PRはどのようにしたのか。周知の仕方に課題があったと思う。皆さんにも心配なことはあると思う。
93					○			・放水路の話がH8で出て、H21で30年でと出た。今回（整備計画を）変更していただけるのはありがたいがその度にまた30年度言われる。地元は早くやってほしい。新潟県の財政ひっ迫は分かるがお願いしたい。
94		頸城区			○			・放水路の話が出て30年、これから整備にも30年かかるというのは長すぎる。塩害で田んぼが1町ダメになっている。（期間は）半分くらいにして欲しい。
95					○			・子供のころ（蛇行した保倉川を）真っすぐにしたのは10年で終わった。それから、見ると長すぎでは？論議が上に伝わっていないのではないかと？軍事費ではなく防災に使うべきだ。8号の復旧(国道8号茶屋ヶ原の土砂崩壊)ももっと業者を入れてやるべきだ。
96						○		・30年で、これからどのように進めていくのか流れを教えてください。
97					○			・放水路について、一般的な話でよいので、住民に対しての説明はどのように進めるのかを教えてください。
98		妙高市	○					・今回の地震（能登半島地震）での関川・保倉川でどれくらいまで津波が遡上したか、教えてください。
99					○		・今回の変更で関川2,600m³/sが3,200m³/s、保倉川放水路は700m³/sが900m³/sと流量増となるが、今現在どれくらい流下可能か教えてください。 流量配分図において、関川と保倉川の合流部においてのどれくらいの流量になるか。	
100				○			・（放水路の）工事はいつくらいから始まって、だいたい事業費はどれくらいか。	

番号	意見方法	お住まい	分類・項目					頂いたご意見	
			保倉川放水路関連			④ 関川・保倉川全般	⑤ その他		
			① 地震・津波	② 海水、風、地下水	③ 進め方				
101	流域説明会	妙高市		○				※頂いたご意見については原文、若しくは説明会でのご発言をそのまま掲載しております。 ※なお、説明会でのご発言については文脈等から一部括弧書きで主語等を追記しております。 ※頂いたご意見の中で特定の個人を識別可能な部分については、個人情報保護の観点から当該部分を黒丸表示としています。	
102						○			・ 放水路以外の治水対策も検討したのか。
103						○			・ 関川が3, 200m³/sになることで、保倉川本川へバックが効いて水位が上がることはあるのでしょうか。
104	意見箱	合併前上越市				○		・ 河川の氾濫を危惧しております。一度の降水量が大変多くなってきております。このエリアも例外ではないのでしょうか。他のエリアの水害（浸水被害）をテレビの報道で見えています。 30年計画のようですが、なるべく早めの対応（水害防止）をお願いいたします。 温暖化が進んでいる状況なのではないのでしょうか？ よろしく願いいたします。	
105		大潟区			○			・ 本計画が示された当初1996年（平成8年）から興味を持ち、説明会等に参加して来ました。当初計画では、2009年度（H9）から30年計画、2038年度（H28）が示され、既に27年が経過しております。今年度から30年、2053年度までの対象期間が示されましたが、温暖化現象による気候変動の激変により、世界のあちこちで想定外の自然災害が発生しております。 この間に当地でも未曾有の豪雨による洪水が心配されます。放水路の基本ルートはほぼ決定したようですが、関連施設等（JRや基幹道路に架かる橋梁、放流口、河口等の関連施設等）については、変更案からは読み取れません。 放水路ルートに係わる関係地域住民の理解、了解を得るのが先決かと思いますが、24年度以降、橋梁形状、関係施設等の概要について、あるいは、工事着工の年月等、おおまかな【工事計画】を示していただけないでしょうか。適宜、上越市民に対する説明会の開催もお願い致します。 大凡、全川幅約150～200mによって住宅地域が分断され、自然環境も大きく変わる、当該地域の皆さんがイメージできる完成後の姿を示すことも、必要かと思ひます。	

番号	意見方法	お住まい	分類・項目					頂いたご意見
			保倉川放水路関連			④ 関川・保倉川全般	⑤ その他	
			① 地震・津波	② 海水、風、地下水	③ 進め方			
106	意見箱	大湍区					○	・ 湍川の河川改修整備は、放水路計画が決定してからと聞いておりましたが、江戸時代の正保3年（1646）に開削された、〔湍川〕との取り合いはどんな形になるのか心配されます。大湍、頸城、吉川にまたがる広大な高知の湛水対策として掘削され、今の美田に代えた湍川の歴史的価値（地域の宝）を次世代にも残すよう、お願いします。
107	インターネット	合併前上越市	○					・ 今年1月1日に発生した能登半島地震においては津波が関川が遡上し、浸水被害が発生している。 今後整備される保倉川放水路についても日本海に繋がる放水路であることから、地震による大規模な津波が発生した場合、関川同様津波が遡上し被害の発生が予想される。 よって整備される保倉川放水路の堤防等は大規模な津波を予想したものになっているのでしょうか。 また、津波や洪水被害を予想したハザードマップを上越市が発行しているが、保倉川放水路の整備によりハザードマップも大きく変化すると予想され、その点に関して上越市とどのような連携や情報共有をしているのでしょうか。
108				○				・ 保倉川放水路の放水先については直江津港管理釣り場の真横となっている。 河川が海へと流れ込む場所は汽水域となるため、魚の生態系へ影響があり、直江津港管理釣り場で人気のターゲットとなっていた魚が釣れなくなる可能性がある。 直江津港管理釣り場は県内外から多数の釣り客が訪れ、上越市においても海釣りは観光の目玉となっているため、魚が釣れなくなれば、観光客が減少すると思われる。 よって保倉川放水路の整備によるマリンレジャーへの影響や観光資源としての釣り場への影響について各機関への説明や連携は取れているのでしょうか。

番号	意見方法	お住まい	分類・項目					頂いたご意見
			保倉川放水路関連			④ 関川・保倉川全般	⑤ その他	
			① 地震・津波	② 海水、風、地下水	③ 進め方			
109	インターネット	頸城区			○			・ 保倉川放水路について 地球温暖化に伴い、従来にない大雨も発生していくことが予測される。防災・減災のためにも放水路は必要であり、早急に工事着工しなければならないと考える。 但し、放水路にかかる地区の住民としては以下について要望します。 1. 放水路にかかる地権者への買収説明（時期、補償金） 2. 放水路によって移動しなければならない住民への代替地の提示 3. 放水路に架ける橋は、現行の南川線および中部線に架けて欲しい 4. 下三分一の世帯数が減るため、一世帯あたりの町内会費の負担が増す。負担が増えないように補助を願いたい。
110							○	・ 提案 南部工業団地はすべて売却済みから、放水路の対岸（南部工業団地の東側）に新たに工業団地を造成したらどうでしょうか。放水路ができれば洪水による浸水の心配がない、排水先確保ができ工場などを誘致できると思います。 また、工場が誘致できれば、そこに通う従業員の住居も下三分一に造り住民が増すと考えます。
111		不明	○					・ 今回の能登半島地震と同じくらいの地震が起きた時に、津波に関する検証をしてほしい。 ①元旦の時の実際の上昇した水位の上昇の報告がない（実際に30cmくらい上昇した??） ②川の水位が現状1M前後とき、大雨で川の水位が上昇した時、津波が3M、5Mまたそれ以上のときなどいろいろな角度からの検証 ③放水路ができた時、保倉川と放水路が交わった時のシュミレーション、特に最悪の状況を知りたい。
112						○		・ 放水路ができるまでまだ月日がかかると思うが地震・大雨などの自然災害時の避難時の連絡方法がとられていないことが問題点、高齢化に伴ってお互いにどうやって連絡するか町内会・頸城区・各家庭で真剣に考える時だと思っています。
113					○			・ 実際に放水路の工事が始まると毎日トラックなど大型車がひっきりなしに通ると思うが、事故災害に気を付けてもらいたいのと振動などで道沿いの家屋が痛んだ時には補償をきちんとしてほしいと思います。

番号	意見方法	お住まい	分類・項目					頂いたご意見
			保倉川放水路関連			④ 関川・保倉川全般	⑤ その他	
			① 地震・津波	② 海水、風、地下水	③ 進め方			
114	インターネット	頸城区		○				<p>・希望館の説明会に参加しました。ありがとうございました。</p> <p>とても多くの資料を頂きましたが、地域住民にはあれだけの資料を参考にしてもらうわけにはいけないので、恐らく清流通信川っちゅを見て意見を求めるかとは思いますが。</p> <p>今回の川っちゅで住民が一番気にかけていた放水路ルートがわかり、目標水量の引上げ、安全なまち作りは、理解できます。</p> <p>しかし、その3キロにもおよぶ放水路に通常は、海水だとは何も記載されていないため清流通信では、沿線に暮らす住民がこの資料ではイメージできないと感じます。</p> <p>保倉川放水路は、近年の関川水系流域に住んでいて急務だと感じています。潮止め水門については、今後の維持管理、持続可能な運営など施工計画する上、とても懸念されることかと思えます。しかし、今回幅広く意見を提出してもらう必要があるのならば、もっと地域住民が放水路によって変化するイメージを持たせて頂きたいと思いました。一体どれくらいの方が通常の保倉川放水路は、海水ということ。</p> <p>何故、【今のところ潮止め水門の計画は無く、放水路の通常は海水です】と清流通信には記載されないのか…</p> <p>これからも一緒に川づくりを考えていきたいと思えます。</p>
115					○			<p>・放水路に家屋の敷地が全てかかる浮島の●●●●の家の者です</p> <p>高田河川国道事務所の管轄では無いかもしれませんが</p> <p>浮島の溜め池排水機場が放水路にかかります</p> <p>そのすぐ近くに家の田んぼが3枚あります</p> <p>1町1枚 3反2枚 そのうち3反が1枚放水路にかかります</p> <p>家はどこかに引っ越すことになるのですが田んぼが2枚だけ残っても仕方ないので</p> <p>浮島の溜め池を家の残っている田んぼに移設してはどうですか</p> <p>面積はほぼ同じぐらいです</p>
116						○		

38

番号	意見方法	お住まい	分類・項目					頂いたご意見
			保倉川放水路関連			④ 関川・保倉川全般	⑤ その他	
			① 地震・津波	② 海水、風、地下水	③ 進め方			
117	インターネット	不明			○			<p>・保倉川放水路について前回の説明会にも出席しましたが下記について要望と質問があります。 (要望) 私は放水路のエリアに当たっていますが説明会では、その関係について説明もなく質問が出来る感じではない為、当たっている家だけの説明会を強く希望します。 (質問) 1. 保証について細かく説明して欲しいです。(保証内容、今後の流れ、現在の家に最長いつまで住めるのか、代外地関係、その他等) ◎一生の場所として家を建てて放水路に当たったからすいませんでは今後の予定すら不安です。仕事や生活等にも関係する為、しっかり対応よろしく願いいたします。</p>
118	インターネット	合併前上越市			○			<p>・今まで関連する説明会にほとんど出席しています。私たちの地域は、保倉川放水路の計画案の移転地域に当たっています。 住民代表として(地域のリーダーとして)該当の皆さんの意見をまとめてお伝えしたいと思います。</p> <p>毎回、少しでも情報が知りたくて、以前はできる限り都合をつけて、沢山の方が参加していました。そのうち、参加する人も減っていききました。なぜなら、説明会自体に期待をしていた私たちにとって、仕事の都合をつけてまでも参加するのは無意味では…と感じ、どうせ…と期待しなくなったからです。理由は、放水路の作り方、できた後の変化や配慮ばかりの資料とその説明、質疑応答ばかりで、何百ページに渡る資料があっても、私たちに関係するものは、該当するという地図であるということと2行ばかりの文章のみで。</p> <p>一番、居住区ばかりではなく、人生もが変わり、終の棲家として考えていて、何の不満もない現在の家を手放す、追い払われることに納得のしていない私たちを対象とした移転に対する専用の説明会はいまだに行われず、私たちが知るべき、知りたい内容に一切ふれず、説明されず、できた後の未来の話ばかりの内容の説明会と資料ばかりだからです。仕事や進学など、人生設計すらたてられない状態にあるということです。</p> <p>(次ページにつづく)</p>

番号	意見方法	お住まい	分類・項目					頂いたご意見
			保倉川放水路関連			④ 関川・保倉川全般	⑤ その他	
			① 地震・津波	② 海水、風、地下水	③ 進め方			
118	インターネット	合併前上越市			○			※頂いたご意見については原文、若しくは説明会での発言をそのまま掲載しております。 ※なお、説明会での発言については文脈等から一部括弧書きで主語等を追記しております。 ※頂いたご意見の中で特定の個人を識別可能な部分については、個人情報保護の観点から当該部分を黒丸表示としています。

（前ページより）

いの一番に考えてほしいのは、一番最初に私たちの理解と移転という犠牲があって初めて行われる工事計画と実施であるということをお忘れなでほしいという意見が多数あがっています。

地域に残る方の未来の環境もちろん大切ですが、放水路に当たる住民専用の説明会を開いてほしいというのが、皆さんの総意です。

それが開催されなければ、計画の実施は滞りますし、個人対応の交渉の前に、皆さんで共通認識ができる(1)手順や(2)手立て、(3)計画や、(4)個々の違い(1 築年数や、2 ローン支払い中、子育て中、退職前などへの期間の猶予や金額の配慮、3 家の設備の違いに対する補償の差額、4 年齢への配慮、5 代替地の案やどう考えどこが候補か(雪や津波、浸水のない地域)、6 代替地以外への移住希望者に対しても同様の生活ができる新居や土地を補償してもらえるのかの対応、7 新しい家の場合、建てた時と同等の家屋を 消費税があがり、物価が上昇した今、同等の家屋を建てる金額を設定してもらえるのか(今の家を移転せずに住み続けることを希望していた事に対する補償や引っ越し代金)、8 移転した新居ができるまで、仕事の都合で移転しても差し支えない時期になるまで、どれくらい待ってもらえるのかの期間、等)による捉え方や、9 評価額の設定基準や計算の仕方等、私達が知りたい情報は、今の形の説明会では、説明すらなく、資料もなく、質疑応答すらできないことが、ずっと続き、考慮されないため、対策組合のような組織の設立が必要なのでは…という意見すら出始めています。

以上の理由から、代表として総意から私達のような該当地域(移転予定地域)専用の資料と説明会の実施を強く希望します。

地震もあり、今まで以上に計画の見直しや計画の実施が難しく大変かと思いますが、丁寧で真摯な対応こそが、誰にとっても明るい安心するまちづくりの第一歩だと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

(次ページにつづく)

番号	意見方法	お住まい	分類・項目					頂いたご意見
			保倉川放水路関連			④ 関川・保倉川全般	⑤ その他	
			① 地震・津波	② 海水、風、地下水	③ 進め方			
118	インターネット	合併前上越市			○			※頂いたご意見については原文、若しくは説明会でのご発言をそのまま掲載しております。 ※なお、説明会でのご発言については文脈等から一部括弧書きで主語等を追記しております。 ※頂いたご意見の中で特定の個人を識別可能な部分については、個人情報保護の観点から当該部分を黒丸表示としています。
119		不明			○			
120	FAX	合併前上越市			○			
121		頸城区	○					
122						○		

番号	意見方法	お住まい	分類・項目					頂いたご意見
			保倉川放水路関連			④ 関川・保倉川全般	⑤ その他	
			① 地震・津波	② 海水、風、地下水	③ 進め方			
123	FAX	頸城区		○				・放水路整備において、河口付近の河口堰（又は水門）、又は潮止堰（又は水門）、保倉川分岐付近の固定堰、又は可動堰は、最も住民に安全な方式にして頂きたい。万一のリスクを限りなくゼロにした方式にして頂きたい。複数の案を示し、検討し、住民に説明してほしい。
124	手紙	合併前上越市		○				・放水路により分断される農地の対応については、用水が分断され直江津側農地の用地確保ができない。（これについては妙案が無い） 上記のため、直江津側農地については付加価値を上げる対策をおこない、工業団地化し地元の発展に寄与を目途とする。
125							○	・（上記）3の直江津側農地と同様、新潟側農地についても工業団地化し、一大工業団地とし、地元夷浜はもとより上越市そして新潟県の発展を目途としていただきたい。
126		頸城区	○					・保倉川放水路については、津波がきた時、被害が出ると思いますので反対です。 現在海岸線に10m以上の高さの居住地が続いているおかげで、それに続く海拔の低い平野部が守られているのですから、防護の大切な海岸を切ってはいけないと思います。
127					○			・保倉川のまわりの低い所を調整池にして、東京都の防水対策のように、雨がやんだら管を通して、川に水が戻るようにできると思います。 9月の水不足に備えて、川の左岸、右岸に大池をつくり、保倉川から水をひいて貯めておけば、農業用に使用できてよいと思います。 潟川は排水の為の大切な役目を負っていますので、そこを改修工事して広く深くすれば保水力が増すと思います。
128			○					・もっと女性の意見を聞くべきです。5mの津波がきたら、大勢死んでしまうでしょう。15分以内に来るそうなので（地震のあと）、天気の前報をきいて避難できる水害より、予報のきかない津波被害がまず、市民を守る為、最重要課題です。放水路計画はやめて、白紙に戻すべきです。田（休耕の）の利用や遊水池を増やす方が安全です。

番号	意見方法	お住まい	分類・項目					頂いたご意見	
			保倉川放水路関連			④ 関川・保倉川全般	⑤ その他		
			① 地震・津波	② 海水、風、地下水	③ 進め方				
129	手紙	頸城区		○				※頂いたご意見については原文、若しくは説明会でのご発言をそのまま掲載しております。 ※なお、説明会でのご発言については文脈等から一部括弧書きで主語等を追記しております。 ※頂いたご意見の中で特定の個人を識別可能な部分については、個人情報保護の観点から当該部分を黒丸表示としています。	
130					○				・ [対策として考えられること] 大事な田んぼのそばに塩水が入ってきてはいけないと思います。
131				○	○				・ [対策として考えられること] 高田測候所に気象についてきくことと、いただいた資料を読んだ結果、7月の梅雨と、9月の台風の時期に備え、調整池の水量を調節する。（高田測候所は無人になったので、新潟測候所にきく。） （調整池は）海水ではなく、真水の池にして、ご婦人や子供が憩える場にしたい。 （5反1枚や10反1枚の）基盤整備の対象になれなかった田で、畑や樹園地になっていない元の田を調整池として活用してほしい。 （保倉川の）低い所を少し低くして水量調整池とする。管に傾斜をつけて、雨がやんで川の水量が減ったら、川に水が戻るようにする。 （保倉川）上流の右岸、左岸に農業用大池を造る。 国道18号（バイパス）東側の田んぼになっていない広域に調整池としての役割を考えてほしい。 板倉や、他地域も集落ごとに公園などに一時貯留地を確保する。 三和、吉川、大島、牧など、頸城も池を増やしたり広げたりして猛暑に備える。
132			○		○				・ [対策として考えられること] 海岸線の砂岩れきを無くすと津波が入ってくるので、現在も危ないし、未来の子供や孫や子孫に不安材料を残してはいけない。 地域を津波から守らなければいけない。川の津波でも、流れが速いので足をすくわれ、人は死にますと希望館で聞いた。 関川と糸魚川沖の2本の活断層が連動すると15分以内で5mの津波が来るとの事なので、注意が必要。 命を守る為、地域を守る為、海岸線を切るのに反対します。

番号	意見方法	お住まい	分類・項目					頂いたご意見
			保倉川放水路関連			④ 関川・保倉川全般	⑤ その他	
			① 地震・津波	② 海水、風、地下水	③ 進め方			
133	手紙	合併前上越市			○			・ 保倉川放水路について 河川が二分すると流量が減少するため、土砂が溜まり、水量が減少する。
134			○					・ 津波の災害について 今回の地震から学ぶ事は、能登半島の北東部に活断層があり、地震発生すると5～10分内に到達するとの情報があり、また中越沖に活断層（大）が報告されている。このことから、放水路へ津波到達すると、大きな被害が発生する。（水田の塩害、家屋の倒壊）
135						○		・ 平成7年の7月11日の水害の原因について 保倉川は決壊はなかった。（堤防など）数日の雨量があり、保倉川の水位が上がり、その日に（1時間に30mm以上）雨量で、低地水害。 河川整備計画で判断すると危険度が小さい。 整備計画を変更し、能登半島の支援に当ててほしい。
136						○		・ 今年1月16日、保倉川の頸城区森本橋から港橋の下流まで視察して来ました。堤防等は整備され、また支流等の出口も整備されていると思われる。 保倉川は河口まで、ほぼ直線に近い水で堤防の決壊の恐れがないと思われる。（前回の水害後、29年間水害の被害なし）
137							○	・ 去年は春以後、高温、少雨の月が多く、5,6年は続いています。気候変動等が当たり前で、梅雨時期がなくなっていると思う。 最近は、干ばつによる被害が発生して、河川や貯水池の渇水も深刻です。（矢代川）
138							○	
139						○		・ 今回の流域説明会の在り方について 2回会場に出席したが、出席者が少なかった。関係町内長等出席（周知方法）PR不足。 再度徹底した議論が必要と思われる。（若人の不参加）